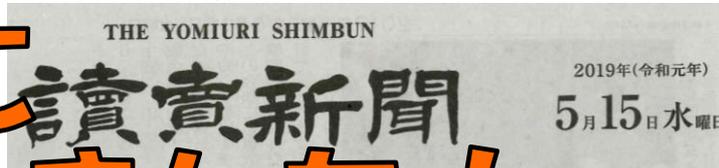


2019.5 津久井幼稚園 2012年度卒業生

ギャンビル ウィリアム海音くん 中学1年

読売新聞に 掲載されました!



Wednesday >>> かながわ スポーツ

ビームライフル射撃

ギャンビル・ウィリアム^{かいと}海音^とさん 12

期待の星

「射撃大好き」エアも資格

重さ約5kgのビームライフルを構え、息を整えて照準を定める。小学3年の時、米海軍軍人の父の友人であるフロリダ州の警察官に勧められ、スポーツ競技としてのエアガンを知った。日本では年齢制限があり小学生はエアライフル射撃の資格が取れないため、ビームライフルを始めた。

狙うのは10分先にある直径46mmの的。中心の10点部は直径1mmで、その中でも中心に近いほど0.1点単位で10・9点まで加算される。ビームライフルは銃規制の厳しい日本で生まれた競技で、銃から弾の代わりに光線を発射。光センサーで命中判定する。月曜日を除く毎日1〜2時間、横須賀市神明町の「くりはま花の国エアライフル場」で練習を続ける。的に当てる感覚が楽しく、メキメキと上達。昨年10月に新潟県で行われた「第4回小中学生全日本ビームライフル射撃競技大会」の少年男子立射60発競技小学生の部では、618・2点の大会新記録を出して優勝した。

今年2月にも、横須賀市で行われた「ヤングスターファイナル全国選抜大会」ビームライフル60発競技小学生の部で優勝。直後に射撃競技が盛んなインドに出かけ、ワールドカップのコーチから指導を受け、集中の仕方や気持ちの切り替え方などを学んだ。

「射撃が大好き」と言い切るギャンビルさんは、私立横須賀学院中学校に入学期後の4月23日、エアライフル競技に参加できる年少射撃資格を取得した。エアライフルの所持は14歳からでないと認められないが、この資格を有することで指導者の銃を借り、指導者のもとで使用できる。12歳の取得は県内初といい、当面はビームライフル、エアライフルの両種目で腕を磨き、エアライフルの五輪代表を目指す。

(光尾豊)



国体神奈川県予選大会で1位通過 (13歳の為オープン参加)

今年度全ての全国大会の出場権を獲得!

